

## ❀登美ヶ丘中学校区

めざす子ども像

幼小中・地域の確かなつながりの中で自ら考え、未来を切り開く子ども

### ▶登美ヶ丘中学校区 地域教育協議会

<p><b>地域・子どもの現状</b></p>	<p>校区の子どもたちは、地域の学校が開校から約50年前後たち、親子が通学する家庭も増えてきていますが世代交代や、近隣に有名私立小中一貫校が3校もあり受検する子どもが増えつつあるのが現状です。環境は、恵まれていて、習い事や塾などに通う子どもも多い中、基本でつまずいている子どもがいるのも現状です。地域の方々の豊富な知識を活用して、子どもたちのために活動を計画するがまだまだ地域も子どもも活用出来ていません。</p>
<p><b>伸ばしたい子どもの具体的な力</b></p>	<p>常に自分を見つめて目標をもち、自ら行動する力、相手を思いやる力を身につけたい。</p>
<p><b>取組内容</b></p>	<p>学校と地域が連携して、学校で地域の方々が活躍出来る場の提供に、また地域で子どもたちが活躍できる場の提供を増やす。そのために広報事業の充実や地域人材の情報収集を確実にし、事業に取り込んでいく。</p>



### ▶登美ヶ丘中学校 運営委員会

<p><b>学校園・子どもの現状</b></p>	<p>新興住宅地として開発され世代交代がおこっている地域である。地域社会における人間関係の希薄化が生徒の成長に及ぼす影響は大きいと考え、さまざまな機会を通じて地域と共に生徒の育成に努め、生徒のコミュニケーション能力・調整力や思いやりを育てている過程である。</p>
<p><b>伸ばしたい子どもの具体的な力</b></p>	<p>広い視野と豊かな心を育み、みんなの幸せのために、未来を切り開く意欲と実践力を持つ人間形成をめざす。</p>
<p><b>取組内容</b></p>	<p>生徒一人ひとりの学びを保障し、「できるからわかるへ」を目標にした学習の確立。社会の中で生き生きと活躍できるためのキャリア教育の充実。</p>



▶鶴舞小学校 運営委員会	
<p><b>学校園・子どもの現状</b></p>	<p>教員や保護者に、いつも頼りにできる存在として、各支援グループの活動が位置づいている。子どもたちにとっても、いつも見かける、お世話になっている地域の大人として認識されていて、様々な活動を通じて地域の方々とのつながりも深まり、子どもの生活が充実する場面が増えてきている。しかし、指示どおりに動くことはできるが、子ども自らが考えたり、思いを伝えたりするなどの主体的な行動が少ない。</p>
<p><b>伸ばしたい子どもの具体的な力</b></p>	<p>自ら学ぶ意欲をもち、自分のよさや可能性を發揮し、人を思いやる心や感謝の心を育むと共に、学校や地域の方々とのつながりをより一層深め、正しいコミュニケーション力をつける。 読書活動をとおして、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにして生きる力を育む。</p>
<p><b>取組内容</b></p>	<p>総合「なら」の取組の一環で地域の歴史や環境を調べて、学ぶ学習により一層重点を置き、地域人材を積極的に活用していく。ぼうけんの森再生プランをより発展させて発達段階に応じた学びの場を設ける。西部図書館やお話の会との連携を密にし、子どもたちの読書活動を定着させていく。</p>



▶平城西小学校 運営委員会	
<p><b>学校園・子どもの現状</b></p>	<p>本校は、緑豊かな丘陵地に位置し、児童が自然と触れ合うことのできる恵まれた環境である。幼稚園、中学校が隣接しているため、様々な活動を連携して行っている。本校の児童は、明るく素直で好奇心も旺盛だが、規範意識やけじめをつけて行動する面においては課題があり、生活経験も少ない。学力は格差が大きく、全体的には年々低下傾向にある。家庭的には、比較的落ち着いているが、児童の学校生活について、関心が低かったり視野が狭かったりする家庭も見受けられる。</p>
<p><b>伸ばしたい子どもの具体的な力</b></p>	<p>自ら考え正しく判断し、進んで行動できるような子どもの育成を図ると共に、規範意識や自尊感情を高める必要がある。また、いろいろな体験をして学習意欲や知識、感性を高めたり、体力の向上を図ったりする必要がある。以上のことを、家庭と連携して進めるために、家庭の教育力も高めていく必要がある。</p>
<p><b>取組内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童がいきいきと意欲的に楽しく取り組めるように、学習環境の整備と学習活動の工夫・改善を図る。</li> <li>・様々な人との関わりを大切にした取組を意図的・計画的に位置付け、あいさつや会話の大切さを知り、コミュニケーション能力と規範意識を高めると共に優しさの醸成を図る。</li> <li>・家庭の教育力を高め、地域・家庭と連携を密にして、やさしくたくましい子どもの育成を図る。</li> </ul>



▶平城西幼稚園 運営委員会	
<p><b>学校園・子どもの現状</b></p>	<p>幼稚園教育への関心は高いが、核家族化がすすみ、近所付き合いも希薄になりがちである。保護者も子どもへの関わり方や子育てに不安を感じている方も多く、基本的な生活習慣が身につけていないなど、家庭教育の低下もみられる。感じたことや考えたことを言葉で伝えたり、人の話をうけいれたりするコミュニケーション能力が低く友達とうまくかかわれない幼児も増えている。また、友達と自然に触れたり体を動かして、戸外で遊ぶ経験や機会が不足している現状がある。</p>
<p><b>伸ばしたい子どもの具体的な力</b></p>	<p>豊かな経験や活動をする中で、自ら考え、主体的にいろいろなことに取り組み、自分の思いや考えを言葉で相手に伝え、相手の思いにも気づき、受け入れながら遊びを進めることができるコミュニケーション力。</p>
<p><b>取組内容</b></p>	<p>地域の教育力を活用しながら、子どもたちの経験や体験を増やし、その中でいろいろな方々との交流（保、幼、小、中、未就園児、地域の方々）を大切にしていきたい。また、親子で楽しむ幼稚園になるよう、保育参加や子育て支援、未就園児保育の充実を心掛け、日々の保育の工夫と充実（園内外の環境の見直し、自然との触れ合い、体力向上）を進めていきたい。</p>



▶鶴舞こども園 運営委員会	
<p><b>学校園・子どもの現状</b></p>	<p>こども園に移行し3年保育、預かり保育が実施されたことで、子どもたちが園で過ごす時間が長くなった。こども園は子どもにとってふさわしい生活の場であり、教育・保育を一体的に行う役割がある。よって、家庭では体験できない社会・文化・自然などに触れ、乳幼児期なりの世界の豊かさに出会う場であったり、地域は、様々な人々との交流の機会を通して豊かな体験が得られる場であるこども園を目指したい。</p>
<p><b>伸ばしたい子どもの具体的な力</b></p>	<p>健康な心と体、自立心と協調性、道徳性・規範意識の芽生え、思考力の芽生え、自然・社会生活との関わり、豊かな感性と表現</p>
<p><b>取組内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の方とのふれあい、小学校や未就園児との交流</li> <li>• 出前授業などの体験活動や栽培活動</li> <li>• 子どもの生活の場としての環境の構成。</li> </ul>

